

# アオウミガメと産卵海岸を守るために ご協力をよろしくお願いします！

## 街に隣接する海岸

現在、父島でアオウミガメの産卵が確認されている海岸は20カ所あります。中でも大村海岸の利用者と産卵のために上陸したウミガメとの接触が多くなっています。母ガメは非常に神経質で、人の気配を感じた場合は産卵せずに海に帰ってしまいます。数日に渡り、上陸、産卵ができないと、水中で卵を放出してしまうこともあります。卵の中にいるウミガメは呼吸をしているので、水中では死んでしまいます。

**夜間、海岸を利用する際はウミガメの上陸や産卵を妨げないように十分ご注意ください。**

## 夜間の大村海岸への立入りについて

産卵期間（5～8月）の大村海岸への夜間立入りについては、下図の青い丸印の入口1カ所として、アオウミガメの上陸、産卵への影響を少なくしたいと考えています。

東京都小笠原支庁  
東京都公園協会  
小笠原村



立入禁止
大村海岸
ゲゲゲハス
緑地
目印の建物
舗装道路
遊歩道

- ライトは足元だけを照らし、海岸へは静かに入る。
- 海やウミガメに光を当てない。フラッシュ撮影しない。
- もしもウミガメに出会ったら、ウミガメの視界から外れるまで動かない。
- 大声を出さない。
- ウミガメの前に立たない。
- ウミガメや産卵巣に近づかない。

ウミガメ調査のため20:00～翌2:00まで大村海岸を海洋センターのスタッフが見回っています。スタッフからお声がけすることがあるかもしれません。その際にはご協力をよろしくお願いします。



ウミガメに関する緊急の夜間連絡先 海洋センター（夜間用電話）：090-1461-3171（20:00～翌2:00）

このポスターの内容に関するお問合せ 小笠原村観光協会：04998-2-2587（8:00～17:00）